

【博物館実習・手続きの流れ】

実習希望者/2月～3月中旬

①富山県美術館のホームページより、博物館実習の実施要項、必要提出物について確認し、応募
[必要書類: 顔写真付きの履歴書、当館で受入れを希望する理由書(レポート)]
(本人→担当者)



実習希望者/3月末締め切り

必要書類の締め切り(本人→担当者)※郵送か持参のこと



実習の可否/4月末決定

富山県美術館で協議(希望者多数の場合は書類選考)の上受入れの可否(内諾)を連絡
(担当者→本人及び場合によっては大学)

※4月末を目途に美術館よりご連絡いたします。

※他の美術館での実習の内諾を優先する場合、すみやかに辞退してください。



〈受け入れ可能な場合〉

5月中旬迄に大学から書類提出

所属大学から富山県美術館 館長宛に正式な実習依頼文、学生の履歴書を5月中旬までに提出ください。依頼文に対して美術館より大学宛に博物館実習の承諾の書面をお送りします。

※大学から提出された実習申し込みの書面の受領をもって正式な実習申し込みとします。

(大学→美術館→大学)※5月末までに一連の手続き完了。



6月以降

実習日程など実習に必要な連絡事項をお伝えします。(美術館→大学または本人)

博物館実習に関する保険加入済みの連絡、宣誓書など必要に応じて美術館に提出願います。



8月(実習日は決まり次第別途連絡)

富山県美術館にて博物館実習を受講